

校長だより(令和3年11月)

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

秋も深まり夜寒を感じる時季となりました。これから木々も色付き始め、いよいよ秋本番の到来です。新型コロナウイルス感染症に係る警戒レベルも10月22日(金)より「2」に下がり、ようやく少しホッとできるところまで落ち着いてきています。一方で、第6波も懸念されているところですので、学校としては引き続き、丁寧に注意深く対応を続けてまいります。



さて、先月号でもお伝えしたとおり、秋は学校にとっても実りの季節です。感染症予防に配慮しながら、日帰り修学旅行や現場実習、校外学習等を次々に実施させていただいています。行事が終わったあとの子どもたちの楽しそうな笑顔や子どもたち同士が交流する姿が見られるのは嬉しいかぎりです。私も小学部・中学部の修学旅行の引率をしましたが、改めて学校行事の大切さを認識させられました。行事を通し、望ましい人間関係を形成し、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする協調性や社会性、さらには自主的・実践的な態度を育てたいと思います。送迎等ではご協力有り難うございました。

11月末にはいよいよ「藤特祭」。一般への公開はしませんが、子どもたちにとっては学習成果を披露する晴れ舞台、着々と準備も進んでいます。頑張る姿にご期待ください。

◇学校評議員会

今年度は、岩崎好夫様(自治会代表)、澤田貴子様(クレッシェンド役員)、佐藤あゆみ様(トータス所長)、吉崎仁様(東中学校長)の4名の方に学校評議員を務めていただくことになりました。第1回はコロナ対応で書面開催となりましたが、10月11日(月)、高等部会議室において第2回学校評議員会が開催されました。校長より今年度の学校経営計画や進捗状況等の説明、各学部主事より今年度の取り組みについての報告、教頭より学校評価アンケート結果の報告を行いました。その後、高等部の授業の様子を見学をさせていただき、最後に学校評議員の皆様からは本校の取り組みについてのアドバイスとお褒めの言葉をいただきました。貴重なご意見を今後の改善につなげていきたいと思っております。

◇ハートフルアート展開会式

今年度もコロナ対応のため、12月3日(金)～7日(火)の間ウェブ開催で実施される「第27回群馬県特別支援学校児童生徒作品展・ハートフルアート展」開会式が群馬県庁32階動画・放送スタジオtsulunusで収録されました。

本校高等部磯部愁太さんが司会進行を務めました。1時間半にもおよぶ長時間の収録でしたが、堂々と落ち着いた司会ぶりに県教委や他校の先生方からお褒めの言葉をいただきました。ウェブページにアップされましたら、是非ご覧ください。

◇修学旅行

小学部では10月7日(木)、藤岡市総合学習センターにて講師の音楽療法士：中林亜衣さんにリトミック等も交えながらご指導いただき、楽しい音楽のひとときを過ごしました。また、8日(金)には伊香保グリーン牧場で動物にえさやりをしたり、うさぎの散歩を楽しみました。山羊や羊に手を舐められても平気な子がいたのには驚きでした。

中学部では10月15日(金)、みなかみ・沼田方面に出かけて水族館やリンゴ狩り、ガラス工芸等を楽しみました。ippoさんの昼食のカレー、とても美味しかったですね。

高等部は10月22日(金)、伊香保で射的や足湯等を楽しみました。階段街を凄い早さで駆け上がる生徒もいて追いかける職員は…、最後の修学旅行、よい思い出ができました。



小学部(下級生による見送り)



小学部(グリーン牧場)



中学部(川場田園プラザ)



高等部(伊香保神社)

